

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 4月 15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1290900016		
法人名	株式会社 東京酸気		
事業所名	グループホーム デイフレンドならしの		
所在地	千葉県船橋市習志野1丁目13-17 (電話) 047(464)6511		
評価機関名	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2丁目10番15号		
訪問調査日	平成20年4月14日	評価確定日	平成20年4月21日

## 【情報提供票より】(平成20年4月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成18年5月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	14人, 非常勤 4人, 常勤換算 12人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	2階建ての	2階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	63,000 円	その他の経費(月額)	16,500 円	
敷金	無し			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(288,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	700 円
	夕食	600 円	おやつ	円
	または1日当たり 1,700 円			

## (4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名	
要介護1	2	要介護2	8			
要介護3	6	要介護4	2			
要介護5	0	要支援2	0			
年齢	平均	86歳	最低	72歳	最高	97歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	きたならホームケアクリニック	ペイデンタルクリニック
---------	----------------	-------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

明るく広がりのある空間に恵まれた環境に立地している。2年前新築された施設で、設備が新しく、光がよく取り入れられ明るい居心地の良い居室となっている。事業所はパーソンセンタードケア(その人らしさを尊重する)の実践に努めており、本人や家族の話を良く聞き、本人の「やりたいこと」が実現できるように力を入れている。利用者は調理や掃除など何らかの役割を担い「生きがい」を持って生活出来るように取り組んでいる。また小規模多機能型居宅介護事業所を併設しており、グループホームと総合的に地域の高齢者福祉に貢献している。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で7項目の改善課題があったが、全項目で改善努力が確認できた。特に地域との交流、カンファレンスの活性化と介護計画の充実、研修計画と実行に成果が見られた。継続してさらに向上を期待したい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で取り組み、改善課題を抽出した。25項目の改善課題を選定したが、前回の17項目より多く、問題改善意識が高まった結果である。年1回の外部評価を活かして問題を解決して行こうとする意欲が見られる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	19年は2回実施された。出席者はご家族、地域町内会会長、副会長、地域包括支援センター長、クリニック院長などである。事業所からの報告だけでなく、参加者からの要望・助言が聴取され、利用者の医療要望、コムスン関連心配、研修企画、利用者の感謝など意見が寄せられた。意見をもとにサービス向上に取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	事業所内苦情相談解決制度や外部相談窓口が契約時説明され、しくはは整備されている。日常的には家族訪問時に職員との会話により、意見・要望が収集され解決されている。また毎月デイフレンド通信を送り、写真入りで暮らしぶりを報告している。家族会は未実施である。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	開設2年目となり地域連携が活発になった。町内会の納涼祭、敬老会、新年会、作品展示会など行事への参加、幼稚園生との交流、介護関連勉強会3回実施参加者約20名~60名、町内サークルメンバーによるボランティア来所など地域住民との交流が盛んになった。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	5項目からなる理念と5つの運営方針を重要事項説明書に明示し、契約時に説明している。職員にはさらに2ヶ月ごと能力向上を中心とする方針が示され、ホーム目立つ場所に数箇所掲示されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の実践のため、毎月ケア会議に全員出席（可能な限り）、約3時間かけて話し合っている。全員が意見を述べ活発な話し合いにより、情報の共有化を図り、理念の実践に取り組んでいる。		実践面と同時に事業所の大切にしているパーソンセンターケアを中心とする理念・方針について職員一人ひとりの覚悟について話し合うことも期待したい。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の納涼祭、敬老会、新年会、作品展示会など行事への参加、幼稚園生との交流、介護関連勉強会3回実施参加者約20名～60名、町内サークルメンバーによるボランティア来所など地域住民との交流が盛んになった。		地域の人々との交流は盛んになったが、さらに介護の勉強会、地域の方のボランティア参加、日常の挨拶など通して、高齢者を地域で支える理解が広がるように期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で取り組み、改善課題を抽出した。25項目の改善課題を選定したが、前回の17項目より多く、問題改善意識が高まった結果である。年1回の外部評価を活かして問題を解決して行こうとする意欲が見られる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>19年は2回実施された。事業所からの報告だけでなく、参加者からの要望・助言が聴取され、利用者の医療要望、コムスン関連心配、研修企画、利用者の感謝など意見が寄せられた。意見をもとにサービス向上に取り組んでいる。</p>		<p>運営推進会議に意見・要望が寄せられ双方向のコミュニケーションとなっている。今後さらに、外部評価結果を報告し意見を聞くなど、会議がサービス向上のモニター役割りとなる様に期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市へは訪問や電話にて指導や意見交換、情報収集など行い、サービスの質の向上に努めている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月ディアフレンド通信を発行し、ホームでの暮らしぶりや情報を提供している。また家族が訪問された時、職員より日常の様子が報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の意見を反映する仕組みは、制度的には苦情相談窓口を設置し、随時対応している。しかし中心は家族の方が面談に来られた時、職員との対話により意見・要望が収集され、日常的に即対応されている。</p>		<p>個別に意見は収集されているが、家族会など組織的な意見収集はされていない。同じ悩みを持つ家族同士の交流や意見収集などの機会の整備も期待したい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動などの場合は、引継ぎを弾力的に時間をかけて実施し、利用者には不安を与えない配慮をしている。</p>		<p>職員の定着率が高くなるように、働き甲斐ある、楽しい職場作りに一層の努力を期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の3時間に及ぶカンファレンスの話し合いの場を通じて職員の育成が図られている。また内部研修を3回地域の方も参加されて実施している。外部研修を案内し希望者は参加している。</p>		<p>カンファレンスを学習の場と捉えて、より一層利用者の思いや要望を察知する力の訓練を望みたい。また内部研修の充実を期待したい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>船橋市グループホーム連絡協議会に施設長が参加し、情報交換している。</p>		<p>連絡協議会で検討される事例検討会などには、実務者レベルの参加が望ましい。</p>
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人がホームに馴染み、納得して入居していただく為に、体験入居を必ず採り入れて本人・家族の納得を前提にした“申し込みから入居までの段階的な支援システム”が確立、機能している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の生活リズムやペースを配慮しながら、残存能力を活かし、調理、片付け、洗濯物整理、掃除など役割を担い落ち着いて本人なりの行動ができるよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常的なコミュニケーションから個々の希望、意向を把握しカンファレンスでの様々な角度から検討し本人の意向把握に努めている。</p>		<p>パーソンセンタードケアを方針としているので、妥協することなくさらに徹底することを期待したい。</p>
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎月のカンファレンスに全員が参加し、3時間かけ全利用者の状況を活発に意見交換し、現状にあった介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>計画は毎月カンファレンスで実質的に見直されるが、3ヶ月最低1回目標・計画と評価を実施し見直している。また評価を的確に行うための新様式を作成中である。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>事業所内で勉強会として、認知症関連講座、高齢者医学講座、歯周講座など実施し、家族の方が参加した。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族の希望により、かかりつけ医を決め、かかりつけ医が協力医療機関の場合は往診や緊急対応の連携が図られている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化対応やターミナルケア対応について話し合い検討中である。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉かけや誇りを尊重する姿勢は十分配慮し、管理者が気づいた場合はその都度注意している。また個別ケース記録類は所定の保管場所に置き、持ち出しは原則禁止（必要な場合を除く）となっている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者それぞれ得意分野を活かし、掃除や調理など役割を担って、自分のペースで生きがいのある生活を出来るように支援している。食事の時間、入浴、消灯時間など弾力的に運用し、ゆとりのある時間を過ごしてもらうよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に、献立メニューに従って、調理、盛り付け、片付けなどしている。また食器類は陶磁器を使用しており自宅から馴染んだ食器の持ち込みも可となっておりお盆も滑り止めのついた漆器風の見映えの良いものを使っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日好きな時間に入浴できることを目標として、本人の希望を聞き楽しんでもらっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味や特技（庭の手入れ、書道など）を活かしながら本人のリズムに合わせて日々充実した生活を送れるよう支援している。また週1回買い物ツアーに出かけ楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物など出来るだけ戸外に出かける努力をしている。		勤務体制より一人ひとりの外出要望に対応することは困難であるが、現在可能な限り対応している。今後外出支援については、家族の理解・協力が得られるよう期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアに取り組んでおり、玄関や居室は自由に出入りが可能な状態にしてある。なお玄関は出入りのときチャイムが鳴り近くの事務員がすぐ気づくように改善した。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年間一回以上の災害訓練を消防署・地域の方(町会)をまじえて実施している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	メニューは委託先の管理栄養士が栄養バランスを十分考慮したもので、水分確保についても一人ひとりの状態に合わせて提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	玄関には利用者手作りの作品が展示されている。また居間と食堂を分けそれぞれの時間を好きな方と過ごしていただけるよう配慮し、季節にふさわしい利用者の作品や写真を掲示され、落ち着いた雰囲気醸し出している。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	基本的に家具・持ち物は自由に持ち込み可とし住み慣れた居住環境をつくり出している。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。